

令和5年度岩手県工業用水道事業会計決算概要

- 工業用水供給量は、基本使用水量が増加し、料金収入は、前年度比1.9%増の8億6千9百万円余となった。
- 経常収益は、料金収入が増となったことにより前年度比1.2%増の9億8百万円余となり、経常費用は、減価償却費の増等により前年度比67.9%増の14億2千3百万円余となった。
- この結果、経常損益、純損益は、前年度比1,152.7%減の5億1千5百万円余の赤字となった。

1 令和5年度損益

(税抜、単位：千円)

科目	年度 令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較	
			増減額 (A-B)	増減率 (A-B) / B
経常収益	908,238	897,139	11,099	1.2%
経常費用	1,423,911	848,152	575,759	67.9%
経常損益	△515,673	48,987	△564,660	△1,152.7%
特別利益	—	—	—	—
特別損失	—	—	—	—
純損益	△515,673	48,987	△564,660	△1,152.7%

2 工業用水の供給・収入状況

実使用水量は減となったものの、ユーザー企業の契約水量の増等により、基本使用水量及び料金収入は増となった。

区分	年度 令和5年度 (A)	令和4年度 (B)	比較	
			増減量 (A-B)	増減率 (A-B) / B
基本使用水量 (千m ³)	15,038	14,442	596	4.1%
実使用水量 (千m ³)	9,358	9,650	△292	△3.0%
超過水量 (千m ³)	43	119	△76	△63.9%
料金収入 (千円)	869,766	853,725	16,042	1.9%

<1 m³当たりの給水単価> (平成23年4月1日から)

(税抜)

料金種別	工業用水料金の額	ろ過料金の額※
基本使用水量 (基本料金)	42 円	35 円
使用水量 (使用料金)	3 円	3 円
超過水量 (超過料金)	90 円	—

※ろ過水使用の場合は、工業用水料金に加算

3 経常収益の状況

基本使用水量の増に伴う料金収入が増 (1千6百万円余) となったことなどにより、前年度比1千1百万円余 (1.2%) 増の9億8百万円余となった。

4 経常費用の状況

新北上浄水場の供用に伴う減価償却費の増等により、前年度比5億7千5百万円余 (67.9%) 増の14億2千3百万円余となった。

5 経常損益、純損益の状況

以上の結果、経常損益、純損益は、前年度比5億6千4百万円余 (1,152.7%) 減の5億1千5百万円余の赤字となった。

なお、経常損益の経営目標に対する実績は次のとおりとなった。

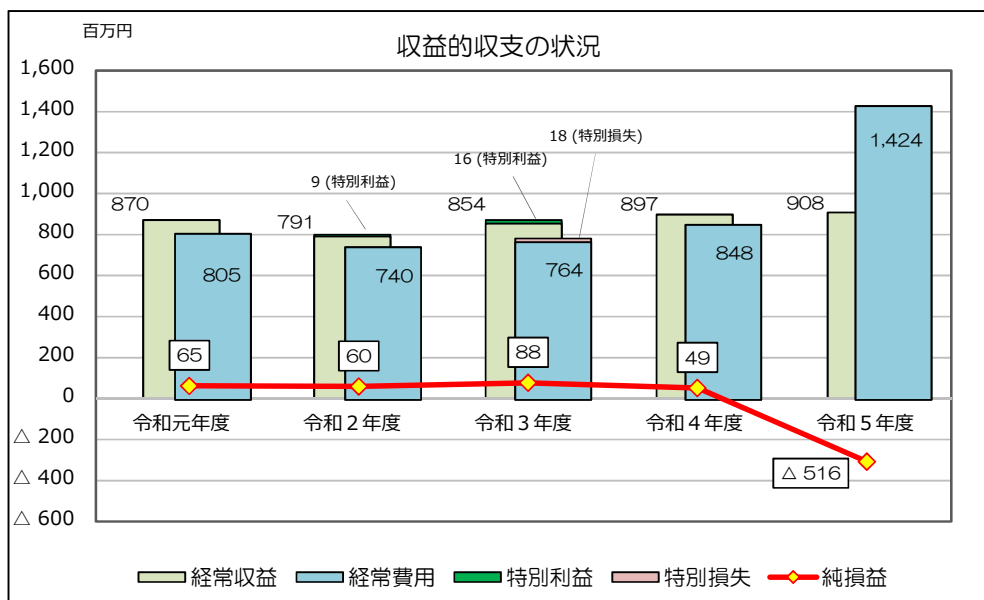
区分	経営目標	実績	増減	備考
経常収支比率	69%	63.8%	△5.2ポイント	経営目標は未達成

【担当：経営総務室予算経理担当課長 佐々木、主査 平賀 (内線 6385)】

工業用水道事業会計収益的収支の状況の推移

(百万円、百万円未満は四捨五入)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
経常収益	870	791	854	897	908
経常費用	805	740	764	848	1,424
特別利益	0	9	16	0	0
特別損失	0	0	18	0	0
純損益	65	60	88	49	△ 516



工業用水道使用状況の推移

(千m³/年、百万円未満は四捨五入)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
基本使用水量	13,244	12,230	13,306	14,442	15,038
実使用水量	7,293	7,316	8,858	9,650	9,358
うち超過水量*	43	55	185	119	43
工水料金収入	795	746	810	854	870
増減額:(当該年度-前年度)	△ 39	△ 49	64	44	16
増減率:(当該年度-前年度)/前年度	△4.6%	△6.1%	8.5%	5.3%	1.9%

* 超過水量：契約量を超える使用量

